

イーストスプリング・
インド株式オープン

追加型投信／海外／株式

第13期(決算日 2017年10月2日)

作成対象期間(2016年10月1日～2017年10月2日)

第13期末(2017年10月2日)	
基準価額	14,884円
純資産総額	91,671百万円
(2016年10月1日～2017年10月2日)	
騰落率	28.4%
分配金合計	1,000円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

[お問い合わせ先]**電話番号:03-5224-3400**

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

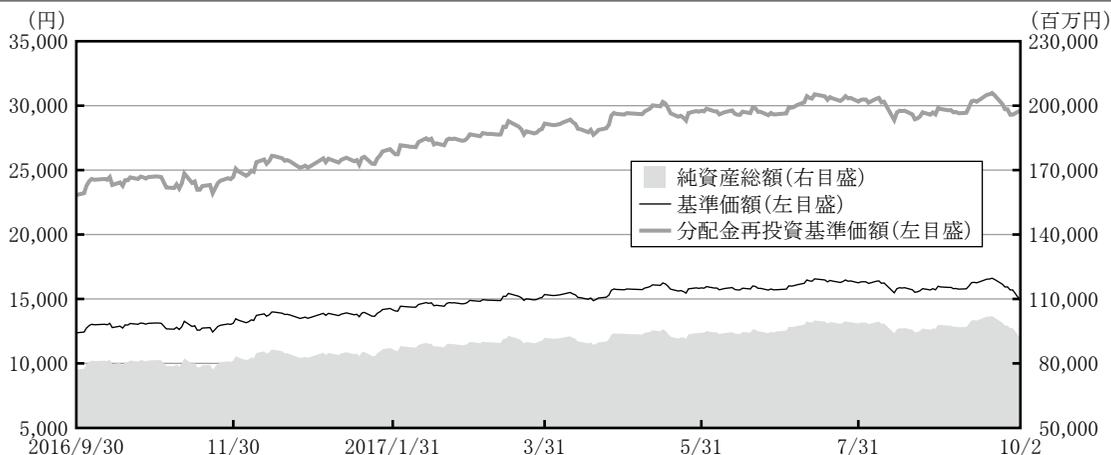
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第13期:2016年10月1日から2017年10月2日まで)



第13期首	12,372円
第13期末	14,884円(既払分配金1,000円)
騰落率	28.4%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・ モディ首相の改革推進への期待などを背景にインド株式市場が上昇したこと。
- ・ インドルピーが対円で上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/10/1 ～2017/10/2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	196円	1.332%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、14,741円です。
(投信会社)	(80)	(0.543)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(112)	(0.760)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	196	1.333	

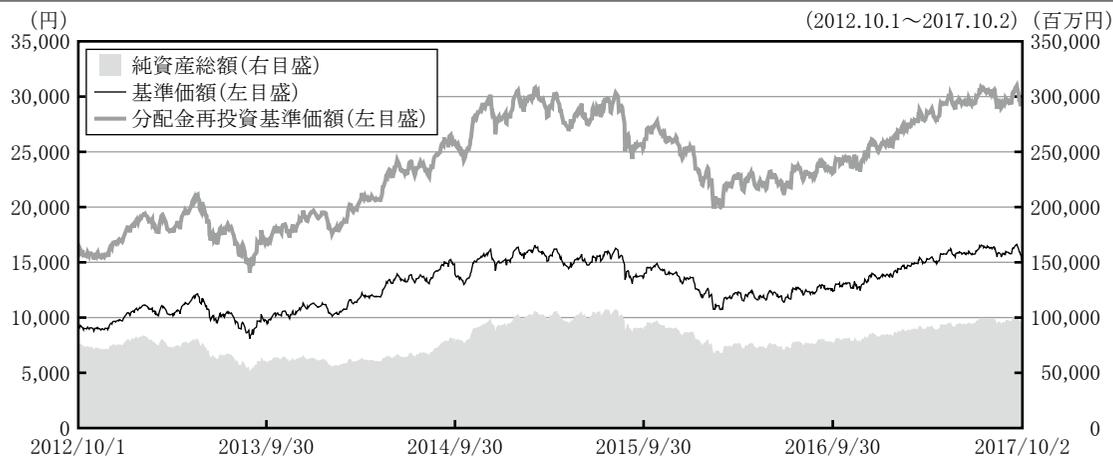
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2012/10/1	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30	2017/10/2
基準価額	(円)	8,981	9,695	13,874	13,634	12,372	14,884
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	1,000	0	0	1,000
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	8.0	53.4	-1.7	-9.3	28.4
純資産総額	(百万円)	74,752	60,419	76,652	89,835	77,003	91,671

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

2016年11月上旬の高額紙幣の廃止を受けて現金決済への悪影響から消費に下押し圧力がかかると懸念され、インド株式市場は12月末まで軟調となりました。2017年に入ると、2月1日の2017/18年度予算案の発表、3月中旬のモディ首相率いるインド人民党(BJP)の地方選挙での大勝、インド気象局による2017年モンスーン期(6月から9月にかけての雨季)の雨量が平年並みとの予想、7月1日の物品・サービス税(GST)導入などが好感されて、株価は上昇傾向が続きました。8月には北朝鮮を巡る地政学リスクが意識されて株式市場は調整し、その後は上値が重くなりましたが、通期では大幅に上昇しました。

○為替市況

インドルピーは、2016年11月に米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利を受けて世界的に米ドル買いの動きが強まると、対米ドルで下落しました。その後、地方選挙でのBJPの大勝を好感した外国人投資家からのインド金融市場への力強い資金流入などを背景に対米ドルで大きく反発し、通期では上昇しました。また、円が対米ドルで下落したことから、インドルピーは対円でも上昇しました。

○国内債券市況

2016年11月の米国大統領選挙の結果を受けて米国債が大幅下落(利回りは上昇)したことなどを背景に、日本国債市場も下落しました。その後、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けてやや買い戻される場面もありましたが、通期では下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド(以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

○インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、通信事業でのサービス有料化などが好感されたリライアンス・インダストリーズ、アルミ価格の上昇を受けて堅調となったヒンダルコ・インダストリーズの保有などがプラス要因となりました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメルリランチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第13期	
	2016年10月1日 ～2017年10月2日	
当期分配金 (円)		1,000
(対基準価額比率) (%)		6.296
当期の収益 (円)		1,000
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		5,605

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

○インディア・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。2017年4-6月期の企業業績は、物品・サービス税(GST)導入前の在庫圧縮などによる下押し圧力を受けましたが、今後は需要の拡大や低金利、上向きの投資サイクルなどに支えられて徐々に回復傾向を辿るとみています。引き続き改革の進展や景気の動向に着目しつつ、国内の経済活動の活発化によって恩恵を受けると見込まれる銘柄の中でも、特にファンダメンタルズが強固で割安な銘柄に注目し、選別投資を行っていく方針です。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

日銀の金融緩和を背景に今後も日本国債の利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場では市場の流動性が低下しており、海外金利の動向などの影響を受けて市場が一時的に不安定となる可能性もあります。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

○金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に基づき、信用リスク集中回避のための投資制限に関する文言または条項の追加など、投資信託約款に所要の変更を行いました。

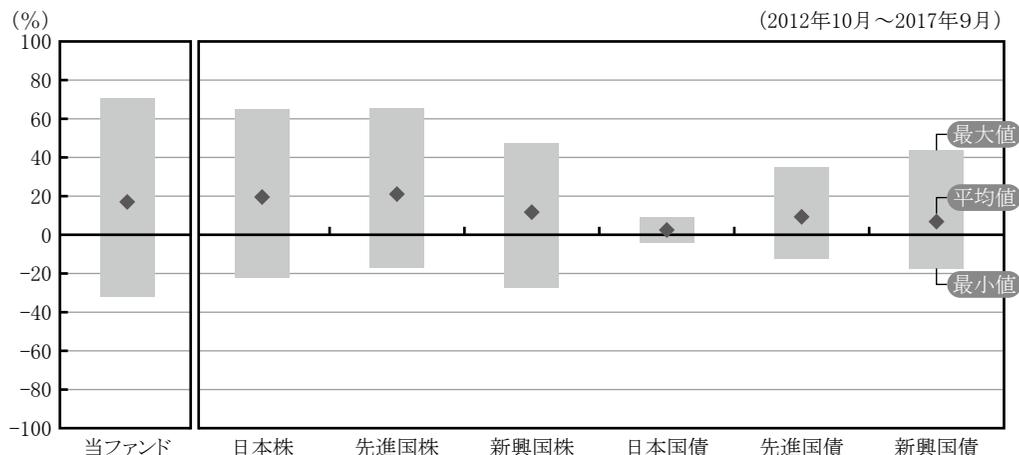
(変更日:2017年3月21日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2004年9月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(9月30日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	17.0	19.5	21.1	11.7	2.5	9.3	6.8
最大値	70.8	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-31.9	-22.0	-17.1	-27.5	-4.0	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年10月から2017年9月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

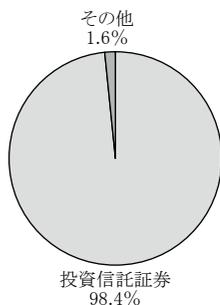
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

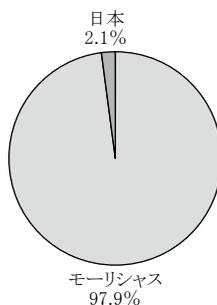
ファンド名	第13期末 2017年10月2日
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	97.9%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

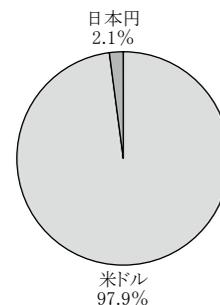
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第13期末 2017年10月2日
純資産総額	91,671,780,937円
受益権総口数	61,590,010,538口
1万口当たり基準価額	14,884円

* 当期中において追加設定元本額は16,003,567,971円、一部解約元本額は16,651,985,281円です。

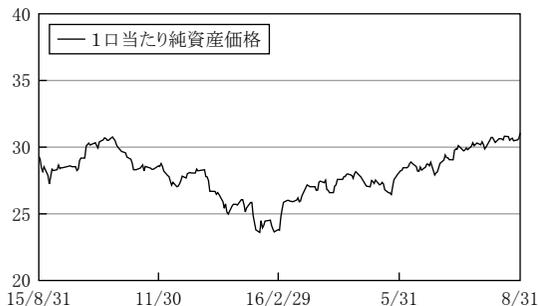
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2015年9月1日～2016年8月31日)

(米ドル)



○1万口当たりの費用明細

(2015年9月1日～2016年8月31日)

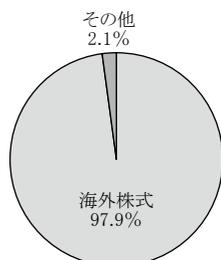
当該期間のFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:39銘柄)

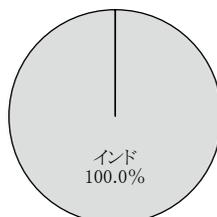
(2016年8月31日現在)

	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	8.1%
2	Housing Development Finance Corporation Ltd	銀行	インド	6.7%
3	Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	5.0%
4	Tata Consultancy Services Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	4.6%
5	Tata Motors Ltd DVR Shares	自動車・自動車部品	インド	4.6%
6	ITC Ltd	食品・飲料・タバコ	インド	4.1%
7	Reliance Industries Ltd	エネルギー	インド	3.7%
8	Dr. Reddy's Laboratories Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.6%
9	LIC Housing Finance Ltd	銀行	インド	3.6%
10	Tata Motors Ltd	自動車・自動車部品	インド	3.4%

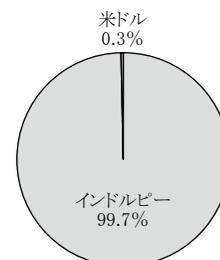
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

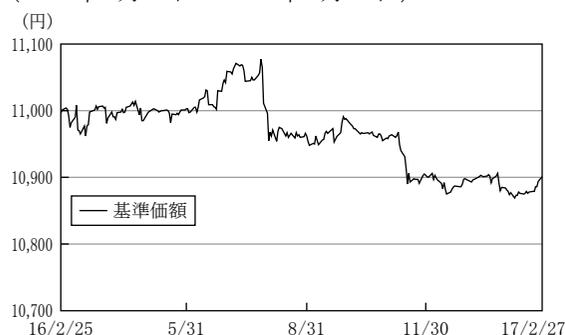
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

○基準価額の推移

(2016年2月26日～2017年2月27日)



○1万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2017年2月27日)

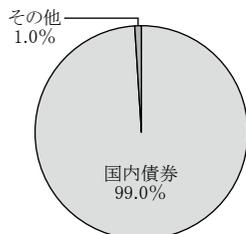
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.217%
(投信会社)	(15)	(0.141)
(販売会社)	(2)	(0.022)
(受託会社)	(6)	(0.054)
(b) その他費用	6	0.052
(監査費用)	(6)	(0.051)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	30	0.269

○組入上位10銘柄(組入銘柄数:21銘柄)

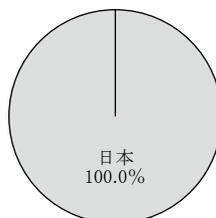
(2017年2月27日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	第285回利付国債(10年)	国債	1.7%	2017/3/20	日本	9.8%
2	第80回利付国債(20年)	国債	2.1%	2025/6/20	日本	8.4%
3	第87回利付国債(20年)	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.1%
4	第63回利付国債(20年)	国債	1.8%	2023/6/20	日本	6.9%
5	第48回利付国債(20年)	国債	2.5%	2020/12/21	日本	6.8%
6	第311回利付国債(10年)	国債	0.8%	2020/9/20	日本	6.4%
7	第67回利付国債(20年)	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.3%
8	第69回利付国債(20年)	国債	2.1%	2024/3/20	日本	5.7%
9	第53回利付国債(20年)	国債	2.1%	2021/12/20	日本	5.4%
10	第47回利付国債(20年)	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.3%

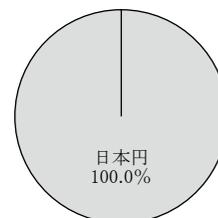
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。